

さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく

令和8年4月30日

さわやか相談室 Tel 048-865-7573

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 Tel 048-861-7571

https://uchiya-j.saitama-city.ed.jp



新しい命の音を聴く

校長 瀧山 聡美

新緑の光の中、校庭の木々がまぶしいほどの若葉を広げています。4月のスタートから1か月。内谷中学校という大きな木は、900人の子どもたちが織りなす日々の営みによって、瑞々しい生命力に満ちあふれています。

さて、先日の全体保護者会では、学校と家庭で大切にしていきたい「啐啄同時（そったくどうじ）」という言葉についてお話ししました。雛が内側から殻を叩く「啐」と、親鳥が外から殻を突く「啄」のタイミングが、ぴたりと重なった瞬間（とき）に新しい命が生まれるという禅の教えです。このお話をした後、ある保護者の方から切実で、かつ温かいご連絡をいただきました。「いま、子どもが壁にぶつかり悩んでいるようだが、親として信じて待ちたい。だからこそ、学校での様子を共有し、一緒に見守っていききたい」

お子さんの自立を願い、焦る気持ちを抑えて、その歩みに寄り添おうとする保護者の真摯な思いに触れ、私たち教職員は身の引き締まる思いがすると同時に、学校と家庭が「共に子どもをはぐくむパートナー」であることを改めて実感し、大きな喜びと勇気をいただきました。私たちも、日々の生活の中で、この「同時」を実現する難しさを感じています。大人は経験がある分、子どもが苦勞している姿を見ると、つい先回りして殻を壊してあげなくなるものです。けれども、親鳥が早く突きすぎれば、中の雛は自力で生きるための準備を整えられないまま、外の世界に出されてしまいます。反対に、雛が必死に叩いているサインを見逃してしまえば、雛は十分に力を発揮できなくなってしまいかもしれません。

環境の変化という最初のハードルを越えた今、子どもたちの内側からは、4月とは違う「コツコツ」という「啐」の音が聞こえ始めています。それは、新しい学習への戸惑いや、友人関係の悩み、あるいは部活動での葛藤かもしれません。学校では、この「叩いてもすぐには殻が割れない時間」を、何より大切にしたいと考えています。スムーズにいかないもどかしさや、思うようにいかない苛立ち、そんな試行錯誤の過程こそが、子どもたちの「心の根っこ」を太く、強く育ててくれるからです。5月は連休明けの疲れも出やすく、自分の殻の硬さを一番に実感しやすい時期でもあります。そのような時、「大丈夫、あなたには叩き続ける力があるよ」、「今は割れなくても、その一叩きがあなたを強くしているんだよ」と信じて寄り添うこと、たとえ歩みが止まっているように見えても「今は力を蓄えている大切な時間なんだね」と丸ごと受け止めてあげること。それこそが、私たちが目指すべき温かな「啄」のあり方ではないでしょうか。

殻の厚さも、叩くりズムもタイミングもみんな違います。子どもたちが安心して試行錯誤を繰り返し、自分らしい殻の破り方を見つけられるよう、そして私たち大人がその「かすかな音」を決して聞き逃さないよう、これからも学校・家庭・地域が手を携え、最適なタイミングで子どもたちを支えていければと願っております。

令和8年度 内谷中学校 5・6月の予定 ※予定は変更になることがあります。

月日	曜	AS	日	行事	時間数	準備	清掃	給食											
								1	2	3	10								
5/1	A	金		さいたま市民の日 学校開庁日															
5/2	A	土		休日															
5/3	A	日		休日 憲法記念日															
5/4	B	月		みどりの日															
5/5	B	火		こどもの日															
5/6	B	水		振替休日															
5/7	B	木		特別定例委員会(前期) 消防訓練(9:00~)	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/8	B	金		3年全学年力・学習状況調査(英・国) 新体力テスト(1年) 安全点検日	6	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/9	B	土		休日 土曜チャレンジスクール①															
5/10	B	日		休日															
5/11	A	月		特別 写真科検診(1年後半クラス+10組 2年抽出)	5	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/12	A	火		普通授業上① 2年保健奉仕 学習集中期①(～21日まで)	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/13	A	水		普通授業上② 学習集中期②(～21日まで)	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/14	A	木		普通授業上③	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/15	A	金		特別定例委員会(前期) 消防訓練(9:00~)	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/16	A	土		休日 土曜チャレンジスクール②															
5/17	A	日		休日															
5/18	B	月		普通	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/19	B	火		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/20	B	水		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/21	B	木		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/22	B	金		普通	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/23	B	土		休日															
5/24	B	日		休日															
5/25	A	月		普通	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/26	A	火		普通	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/27	A	水		普通	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/28	A	木		普通	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/29	A	金		普通	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/30	A	土		休日 学校総合体育大会①															
5/31	A	日		休日 学校総合体育大会②															
6/1	月	B		特別 3時間授業 学校総合体育大会③	3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6/2	火	B		特別 3時間授業 学校総合体育大会④	3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6/3	水	B		3時間授業 Jアワード試験放送 学校総合体育大会⑤	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/4	木	B		普通	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/5	金	B		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/6	土	B		普通															
6/7	日	B		普通															
6/8	月	A		普通	5	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/9	火	A		普通	7	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/10	水	A		普通	7	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/11	木	A		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/12	金	A		普通	5	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/13	土	A		普通															
6/14	日	A		普通															
6/15	月	B		普通	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/16	火	B		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/17	水	B		特別	6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6/18	木	B		普通	7	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6/19	金	B		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/20	土	B		普通															
6/21	日	B		普通															
6/22	月	A		普通	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/23	火	A		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/24	水	A		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/25	木	A		普通	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/26	金	A		特別	7	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/27	土	A		普通															
6/28	日	A		普通															
6/29	月	B		普通	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/30	火	B		普通	6	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※4月の安全点検の結果、危険箇所等はありませんでした。

入学式

4月8日(水)

真新しい制服に袖を通した310名の新入生が内谷中学校に入学しました。1年生の学年目標は「凡事徹底」・「One Team」、生活目標は「時を守り、場を清め、礼を正す」です。新生活がスタートして間もなく1か月、新しい仲間とともに、互いを認め合いながら、充実した学校生活を築いているところ です。



スマホ・タブレット安全教室 4月14日(火)
自転車安全教室 4月15日(水)

セキュリティ関連製品を開発・販売するサイバーセキュリティ会社「トレンドマイクロ株式会社」の方を講師にお迎えし、スマホ・タブレット安全教室を実施しました。

また、さいたま市を本拠地とするプロ自転車ロードレースチーム「さいたまディレーブ」の選手にもご来校いただき、自転車安全教室を行いました。今回の学びが、安全な行動につながることを期待しています。



道徳開き

4月14日(火)

瀧山校長による道徳の授業では、正解がない問いに対し、自分で考えることの大切さを学びました。学年ごとに、友情とルールの間でゆれる気持ちなどについて考え、話し合いました。「答えのない問題に立ち向かうための4つのアイテム」は、今後の学習のヒントになります。

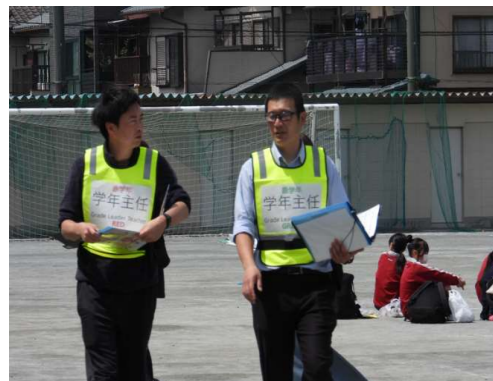


集団下校訓練

4月18日(土)

沼影小学校、浦和大里小学校と連携した小・中合同引渡し訓練を行いました。保護者の皆様には、17日(金)の全体保護者会と連日にも関わらず、ご協力いただきありがとうございます。

今年度は教職員が防災リュック、防災ビブスを着用し、迅速な行動ができるように工夫しました。



令和8年度 第1回 学校運営協議会

4月27日(月)

2月の学校運営協議会で仮承認となっていた「令和8年度学校経営方針」が承認されました。

学校教育目標 進んで学ぶ 心豊か たくましく

学校運営協議会の目標 これからの社会を主体的に生きる生徒の育成

目指す学校像

未来を創る力をはぐくみ、一人ひとりのWell-beingを共創する学校

目指す生徒像

しなやかに、たくましく他者と協働して幸せを創造する生徒

□レジリエンスが息づく場

失敗を「学びのプロセス」ととらえ、何度でもやり直せる寛容さと、互いに支え合うつながりがある学校

□エージェンシーをはぐくむ場

学校運営や行事、学習の進め方に主体的に関わり、自らの声で学校をより良く変えていける実感を伴う学校

□Well-beingを実感する場

自己肯定感と学校運営や社会参画を通じて得られる充足感が循環する学校

□困難を糧にする力

失敗や挫折に直面しても、気持ちを整え、自分なりのペースで新たな一歩を踏み出すことができる。

□意思を持って行動する力

自分自身の学習目標を立て、学び方を自ら選択・調整することができる。また、社会や身近な課題を「自分事」として捉え、より良い方向へ導くために自ら考え、行動できる。

□共に幸せを創る力

自分の良さを知り、心身の健康を大切にしながら、自己実現に向けて努力できる。多様な価値観を尊重し、対話を通じて共に心地よい居場所を創り出すことができる。

学校経営方針

【知のWell-being】 学びの質の向上

- デジタルの力で生徒のリアルな学びを支える意識とバランス感覚を持った授業を実践する。
- 文科省「教育課程柔軟化サキドリ研究指定校」により本校の強みを最大化する教育課程を創造する。
- 小・中一貫教育の推進を基盤としたカリキュラム・マネジメントの充実により真の学力の育成を図る。

【心のWell-being】 子どもの発達や心のサポート

- 一人ひとりに寄り添った発達支持的な生徒指導や教育相談の一層の充実を図る。
- いじめ撲滅及び生徒主体によるいじめの未然防止の取組を強化する。
- 互いの良さを認め合い、尊重し合える心理的安全性の高い集団づくりを行う。

【学校・家庭・地域のWell-being】 地域とともにある学校づくり

- 学校運営協議会と生徒会活動の連携・協働の充実を図る。
- 地域人材を活用したキャリア教育をはじめとした地域の教育力の活用と、積極的な情報共有により信頼関係を構築し、学校・家庭・地域との連携・協働の更なる充実を図る。

【教育環境のWell-being】 安全・安心な教育環境の整備

- 危険を予見した確実な安全点検の実施により、生徒が心身ともに健康に過ごせる教育環境を整備する。
- 合理的配慮に基づいた掲示物の整理や、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた空間を整備する。
- 熱中症や感染症対策及び生徒の事故やケガの防止に向けた指導と管理を実践する。

【教職員のキャリア形成とWell-being】 教え方改革・働き方改革の更なる推進

- 業務の質的・量的な効率化により、生徒と向き合う時間の創出とワークライフバランスの充実を図る。
- キャリア段階に応じた研修の受講奨励により、教員としての資質向上を支援する。
- 教職員が働きがいと使命感を持って教育活動に邁進する、心理的安全性の高い職場環境を作る。